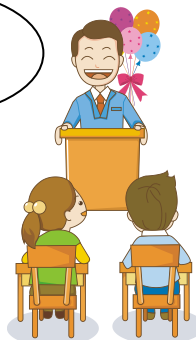


友達とうまく関われなかったり、指示されたことがよくわからなかったりして、本当に困っているのは、こうしたお子さんたちなのです。

でも、一人一人に応じた適切な支援があれば、みんなと楽しい学校生活を送ることができます。

だいじょうぶだよ！



# 適切な支援が必要です

## 授業が始まって遊びがやめられないお子さん

授業を始めるよ！



遊んでいるときには、周りの声が入らないんだ。  
それに、急に「やめなさい」と言われても、すぐに止められないよ。

前もって始めと終わりの時間を知らせますね。  
また、一日のスケジュールも表にするなどして、事前にわかりやすく伝えますね。

あと5分で授業が始まるよ。



## 片付けが苦手な忘れ物が多いお子さん

道具がない！どこに行っちゃったのかな？



どうやって片付けたらいいかわからないんだ。  
それに、忘れ物をしないようにしようとしても、うまくいかないんだよ。

何をどこに片付けるか、紙に書くなど分かりやすくしますね。  
また、学校に予備を置いておくと、忘れたときも安心ですね。

これで安心！



## 「困り感」のあるお子さんと特別支援教育

特別支援教育は、「困り感」があるお子さん一人一人の教育的ニーズを把握して、生活や学習上の困難を改善、又は克服するために、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

そのため、特別支援教育は、特別支援学級のお子さんだけでなく、通常の学級に在籍するお子さんも対象にしています。

## 周囲の人との協力が大切です！

「困り感」のあるお子さんを支援するために、本校では「特別支援教育コーディネーター」がいます。お子さんのことについて不安を感じたり、困ったりしたことがあったときには、遠慮なく相談してください。

また、発達障害が疑われるお子さんの性格や親のしつけとは関係ありません。だからこそ、お子さんが地域で暮らしていくためには、周囲の人の理解と協力がとても大切です。